

### 第3章 かつしか観光の将来目標像と基本的な方向性

葛飾区の観光を取り巻く外部環境と内部環境の分析、および「かつしかの魅力プロデュース会議」とワーキンググループでの議論を踏まえて、将来的に実現を目指す「かつしか観光」の将来目標像と、諸施策に取り組むにあたっての基本的な方向性を以下のように設定します。

#### 1. かつしか観光の将来目標像

葛飾区が区全体で観光振興に取り組んでいくにあたっては、葛飾区と観光関連組織・民間事業者はもちろん、区民自身が「かつしか観光」の振興に関心を持ち、その方向性を理解して実践につなげていくことが求められます。葛飾区内の多くの人々がともに行動を起こすにあたって共有していく将来目標像として、以下を定めます。

##### かつしか観光の将来目標像

川の手の魅力と情緒が息づくまち かつしか  
～ 住む人・訪れる人がともに織りなす  
にぎわいと安らぎの交差点づくり ～

葛飾区は、開放的な河川敷を持つ大きな河川にその区域を囲まれ、水と緑を身近に感じられるとともに、歴史的文化的な資源にも恵まれています。

かつて、葛飾区の辺りは“大都市・江戸”の行楽地として、定期的に縁日を開いて人を集め、水辺に憩いを求める人々へ地場の味覚である川魚や草だんごなどを商う店が出てにぎわったといわれています。明治時代には堀切で栽培された花菖蒲が海外への輸出品として珍重され、また近年では国民的な人気を誇った映画や漫画・アニメの舞台となったことで、幅広く人々に親しまれ、全国から多くの人々が葛飾区を訪れるようになりました。

このように、葛飾区内にはそれぞれの時代に培われ愛されてきた魅力が集積しており、それらを求めて現在でも人々が行き交う場となっています。

こうした観光地としての実績と先人の知恵を受け継ぐ葛飾区は、今後も多くの人々に愛されるにぎわいのあるまち、また区民にとっては安らぎを感じるとともに誇りと愛着の持てるまちとなることを目指します。

葛飾区が、地元を愛し人の情に厚い区民と来訪者とが温かく触れあい、ともに充実した時間を過ごす場となるために、長期的な視点で諸施策に取り組めます。

具体的には、以下のようなまちとなることを目指して、観光まちづくりを推進します。

#### かつしか観光が目指す姿

多くの人々を惹きつけている既存の観光地に、新たに人々が集う地域が加わることで、区内全域でにぎわいを生み出すことを目指します

魅力が高まった「かつしか」を、多くの人々に広く知ってもらいイメージアップにつなげることで、何度でも訪れたくなる、暮らしたくなる葛飾区となることを目指します

区民自身が地元の魅力を知ってそれを楽しみ、地域活性化のために主体的に行動することを通じて、誇りに思えるまちとなることを目指します

## かつしか観光の質的目標と量的目標

今後の人口減少社会では、これまでのような右肩上がりに量的拡大を目指す施策には自ずと限界があり、観光振興においても「来訪者数の増加」という量的目標の追求よりもむしろ「来訪者の満足度やまちに対する好感度を高める」という視点や「観光振興を通じた住民生活の充実」といった質的な捉え方が重要となります。

つまり、来訪者数が前年と同じか、逆にやや減少したとしても、これまでよりも来訪者と区民が「かつしか」を深く知って区内で楽しく過ごし、そして「かつしか」を訪れ、暮らすことに大いに満足するならば、葛飾区内での交流人口（訪れる人の数）や消費額、区の定住人口の維持・拡大が期待できることに加えて、葛飾区を「訪れたい」、ここで「暮らしたい」「働きたい」、区内で作られたものを「買いたい」と感じる「かつしかファン・サポーター」を増やすことにもつながると考えられます。

葛飾区への来訪者数を維持し、増加させる努力を重ねつつ、来訪者の満足度という質を評価する指標を、「かつしか観光プラン」推進期間中に検討・試行のうえ導入し、主に来訪者の満足度の向上に取り組んでいくこととします。

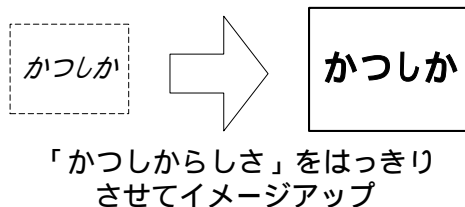
葛飾区では平成 17 年度に「葛飾区観光基礎調査」を実施し、来訪者の実態の把握に向けて取り組みを始めたところです。この結果を精査しつつ、「かつしか観光プラン」推進期間中に、新たに葛飾区への来訪者の数や行動、ニーズ等を把握する定期的な調査（「観光動態調査」）を導入することで、地域別のより詳細な施策の設定やそれらの施策の効果を推計することを目指します。そのためにはまず、現在検討が進んでいる国による観光統計基準のあり方や東京都の基準を見据えつつ、葛飾区として、過不足のない調査項目、継続性のある調査の実施といった視点で、一定程度のデータを蓄積することとし、そのうえで今後、数値目標のあり方やその水準について検討し設定していくこととします。

## 2 . 基本的な方向性

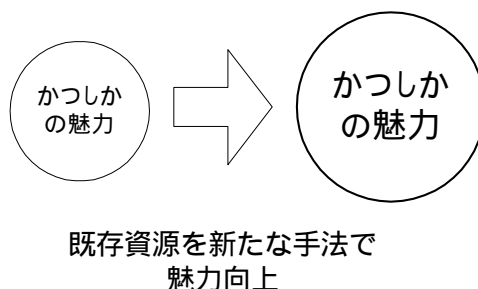
かつしか観光が目指す将来目標像の実現に向けて諸施策に取り組むにあたり、以下の3つの基本的な方向性を設定します。

### 基本的な方向性1 . 「かつしか」の魅力の再評価と創出

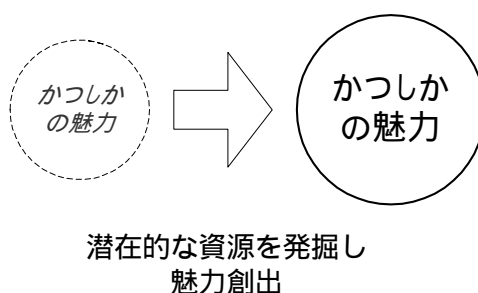
- ・ 「葛飾（かつしか）」というイメージに対して、社会から広く期待される楽しさやくつろぎ感、品質等をきちんと提供できるハードの整備やソフト面での取り組みを行います。また、葛飾区民が求める「かつしか」のあるべき姿をもとに、「かつしからしさ」（アイデンティティ）をはっきりさせ、発信することでイメージアップを図ります。



- ・ 既存の観光地では、来訪者の満足度をさらに高めて再来訪を促す取り組みとともに、区内での飲食や買い物誘発する施策に取り組めます。

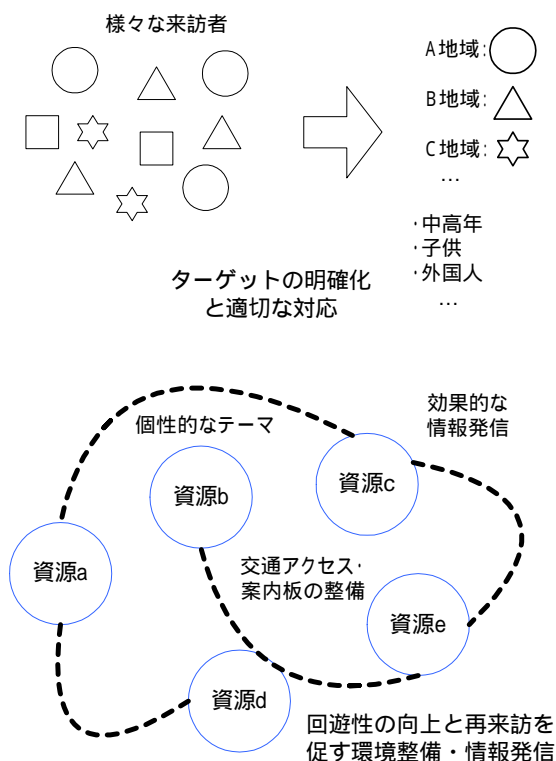


- ・ 現在は観光の対象と認識されていない地域資源についても、昨今の健康志向や環境保全に対する意識の高まりといった社会の流れを踏まえて、区内の河川や自然を活用するとともに、区民が日頃親しんでいる飲食店・商店街などを、新しい誘客力を持った観光資源としていきます。



## 基本的な方向性 2 . 身近で回遊性の高い「かつしか」の実現

- ・ 新しいマーケットとして若年層や外国人を捉え、あらゆる人々が気軽に何度でも訪れたいとなる取り組みを行います。
- ・ 区内をスムーズに移動できるように交通手段等のハード面の整備を図るとともに、めぐりたくなるテーマを持った周遊ルートの開発やその沿道の景観づくりを区内全域で進めます。
- ・ かつしかの観光資源に関する情報の収集・整理を常に行い、季節の花やイベントに合わせたタイムリーで効果的な情報発信を行います。



## 基本的な方向性 3 . 「かつしか」区民とともに取り組む受け入れ態勢の整備

- ・ 来訪者を迎える観光関連事業者と区民が、ともに葛飾区の魅力についてよく知り、区民自身が区内での暮らしを楽しむと同時に、様々な主体がともに地元地域の魅力をさらに高めるための活動を進めます。
- ・ 一般区民をはじめ、ボランティアガイドや商店街・伝統産業の後継者等、かつしか観光の今後を担うと期待される人材の育成については、長期的な視点で取り組みます。
- ・ 区内の観光関連組織が連携を密にして協働を図るとともに、区外のパートナーとも定期的な情報交換の場を設け、広域的な連携を図ることで「かつしか観光プラン」を着実に推進します。

